

法人（事業所）理念	専門職として、ソーシャルワークを展開します。								
支援方針	こどもたちのできることが一つずつ増えるように、ゆっくり丁寧な療育をします。								
営業時間	9時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし (※介護・妊婦など、事情がある方のみ)			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を契約時の『アセスメントシート』で把握する。登所時に検温・指手消毒、保護者さまから当日の健康状態・怪我などを口頭で確認する。 基本的生活スキルの獲得として、手洗い・うがい・歯磨き・トイレトレーニング、食育（食への興味関心・食具）をクッキングやお弁当から学ぶ。 整理整頓の習慣に向けて、視覚支援も用いたロッカー・玩具の片付けができる環境設定がある。 文化や季節のイベント、他事業所・地域との交流を実施。防災の日など、地震・火災を想定した避難訓練も実施している。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 公園遊び、リトミックなどの音遊び、その他の粗大運動遊びから筋力・持久力・体力の向上を図る。バランス感覚や協調性も成長できるプログラムあり。。 発達段階に合わせて、創造的な個別プログラム（つまむなど、指先を使う細かい動作）や集団プログラム（回すなど大きな動作）から生活力の向上を目指す。 感覚機能の向上を目的に、五感を使ったプログラム（粘土遊び、色遊び、季節の野菜でのクッキング、お散歩など）で五感への刺激を与えることで、脳の活性化に繋がる表現力・想像力・危機管理能力などの向上を目指す。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ボディーイメージを形成するプログラムを通して、自分の力の強さ・力加減を学ぶことができる。身体感覚から距離感を学び、衝突・怪我のリスク軽減を目指す。 お買い物ごっこなどのプログラムから、複数指示の課題をクリアし、情報の同時処理機能を養う。 子どもの五感から必要な情報を収集して、色や形・音や声・香りや味・触り心地や温度を直接分かるように認知機能の発達を促す。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 絵カードなどを活用し、具体的な事物と言葉の意味の一一致や、語彙を広げて発声を促して発音の明瞭を図る。 作りカードなどを活用で語彙を増やし、気持ちを伝える力からコミュニケーション能力の向上を目指す。 ミニチュレーションが図られる子どもには、ジャスチャー・仕草、表情・リアクションから発声を促す。 余暇では、子どもの手本となる支援を入れてコミュニケーション能力の向上を目指す。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ルールある遊び、勝負ある遊びを通して、ルールを理解する力・言語理解力・他児との協調力などを養う。 体を動かすプログラムから、感情を発散させて感情整理の力を養う。 集団への参加支援として、子どものペースで参加できるよう、安心して楽しむことで活動に参加できるように工夫する。 一人に合わせた声掛け・支援方法を統一して支援する。 相手の気持ち・状況の理解ができるように、分かりやすい説明の支援をする。 							
	家族支援	<p>【随時】個人面談・メール相談 【定期】ご相談用紙の配布</p>		移行支援	就園先・就学先への情報提供（※ご家族さま同意の上で）				
地域支援・地域連携	市役所・保健福祉センター・他事業所への情報提供			職員の質の向上	<p>【定期】スタッフ研修（『知識教養・支援方法・社会人マナー・コミュニケーションスキル・文書の書き方』など） 【随時】外部研修、資格取得の推進</p>				
主な行事等	<p>【全員対象】親子療育（療育体験『ふおーばーんふえす』・生活体験『おかいものごっこ』・親子クッキング・地域体験『じゃがいも掘り』『さつまいも掘り』） 【未就園児】親子遠足（春・秋） 【年長児】修了式 【ピアノ・リトミック療育対象】発表会『wakuwakuコンサート（甲東ホールにて）』 【不定期】他事業所との交流</p>								